

令和4年度 第2回千代田区図書館評議会 議事要旨

【日時等】

- 〈実施日〉 令和4年11月11日（金） 14：00～15：20
〈場 所〉 千代田区役所 4階 401会議室
〈出席者〉 ◦ 評議会委員（7名）
野口 武悟（会長） 鴫田 拓哉（副会長）
丸山 郁太郎 木原 一雄
戸栗 大貴 福山 伸隆
北島 敦子
◦ 事務局
千代田区文化振興課長 加藤 伸昭 他3名
〈欠席者〉 ◦ 評議会委員（1名）
高山 剛一

【資料】

—当日配付資料—

1. 令和4年度 第2回千代田区図書館評議会 議事次第
2. 第7回千代田区子ども読書調査報告書・概要版

—事前配付資料—

3. 資料1 令和3年度の評価方法について
4. 資料2 千代田区図書館評議会 令和3年度図書館評価シート
5. 資料3 評議会委員の評価一覧表
6. 資料4 評価シートに関するご質問・ご提案への回答

【次第】

- 1 開会
文化振興課長挨拶
- 2 議題
令和3年度千代田区立図書館運営の評価について
- 3 連絡事項
次回日程

【議事経過】

1 開会

＜文化振興課長 挨拶＞

文化振興課長より、挨拶および資料確認を行った。

2 議題

＜令和3年度千代田区立図書館運営の評価について＞

会 長： 本日は、令和3年度の評価方法に基づいて、評価シートのコンセプトごとに「評議会委員の評価」をまず決めて、その上で評議会としての「総合評価」を決定していきたい。

①千代田ゲートウェイは、a評価の委員が2人、b評価の委員が6人、c評価の委員はいない。8人の委員のうち、b評価の委員が6人のため、評議会としては、b評価としてよいか。

→異議なし ①千代田ゲートウェイは、b評価とする。

②ビジネスを発想するセカンドオフィスは、全員がb評価、b評価としてよいか。

→異議なし ②ビジネスを発想するセカンドオフィスも、b評価とする。

③区民の書齋は、a評価が3人、b評価が5人、b評価が多いためb評価としてよいか。

→異議なし ③区民の書齋も、b評価とする。

④クリエイトする書庫は、b評価が7人、c評価が1人、b評価が多いためb評価としてよいか。

→異議なし ④クリエイトする書庫も、b評価とする。

⑤ファミリーフィールドは、a評価が2人、b評価が6人、b評価が多いためb評価としてよいか。

→異議なし ⑤ファミリーフィールドも、b評価とする。

⑥管理運営等は、a評価が2人、b評価が6人、b評価が多いためb評価としてよいか。

→異議なし ⑥管理運営等も、b評価とする。

では、改めて6つの評価項目ごとに確認する。

- | | |
|---------------------|------|
| ① 千代田ゲートウェイ | b 評価 |
| ② ビジネスを発想するセカンドオフィス | b 評価 |
| ③ 区民の書齋 | b 評価 |
| ④ クリエイトする書庫 | b 評価 |

- ⑤ ファミリーフィールド b 評価
- ⑥ 管理運営等 b 評価

以上、評議会委員の評価は、すべて b 評価に決定する。

それでは、「指定管理者の自己評価」「評議会委員の評価」の2つの評価から「総合評価」を確定していきたいが、評価方法の計算式に基づいて計算するとすべて 2.0 以上のため、「総合評価」としても全項目、B 評価になる。

念のため、1 項目ごとに確認する。

- ① 千代田ゲートウェイ 総合評価 B (平均点 2.0)
- ② ビジネスを発想するセカンドオフィス 総合評価 B (平均点 2.0)
- ③ 区民の書斎 総合評価 B (平均点 2.0)
- ④ クリエイトする書庫 総合評価 B (平均点 2.0)
- ⑤ ファミリーフィールド 総合評価 B (平均点 2.0)
- ⑥ 管理運営等 総合評価 B (平均点 2.0)

よって、総合評価も、すべて B 評価で確定したい。

この評価シートについては、区の評価と合わせて「令和3年度千代田区立図書館運営評価」として冊子にまとめたのち、公表する予定である。

- 会 長： ここからはコンセプトごとに質疑応答、意見をいただきたい。まず、①千代田ゲートウェイではいかがか。
- 委 員： 評価シートに区内関係施設との連携が復活してきている。と書かれている。どんどん進めてほしいと思う。
- 文化振興課長： 今、東京ステーションギャラリーで鉄道 150 周年の展示を行っているが、日比谷図書文化館で所蔵している作品も展示している。また、今年は静嘉堂が丸の内に新たに美術館を開館したが、さまざまな形で連携を強めていきたい。
- 会 長： 関連するが、千代田区では図書館、美術館、博物館など文化施設が一体になった紹介マップを作っているか。
- 文化振興課長： 図書館では作っていないが、当課の文化振興係でミュージアムマップという形で、劇場と美術館、博物館が連携しているものは作っている。
- 会 長： 図書館も入れた方がよいのではないか。大学の図書館も入っているか。
- 文化振興課長： 区の図書館は入っている。大学とは千代田区内大学図書館と区立図書館との連絡会という会議体があり連携している。
- 会 長： それぞれの施設が個別にというよりは、連携することでより相互利用も促進されていく。そのマップはWebにも公開されているか。
- 文化振興課長： 区のホームページからPDFで公開している。
- 会 長： 次に、②ビジネスを発想するセカンドオフィスでご意見等はいかがか。
ー特になしー
- 会 長： 次に、③区民の書斎でご意見等はいかがか。
- 委 員： 小中学生の段階から読書になじむような仕掛けを作り、学校との連携を重視してはどうか。という質問に対し、千代田区子ども読書調査を毎年実施していると

いう回答がある。このデータも開示してもらえると、より評価の際に分かりやすいのではないか。

文化振興課長： 小中学校へは、千代田図書館の読書振興センターから専門司書を派遣しているが、区立の小中学校だけでなく、幼稚園、こども園、保育園、児童館にも派遣し、読み聞かせを行っている。小中学校には学校図書館があるので、週3回ぐらい指導を担当する先生たちと一緒に学校図書館の選書やカテゴリー分けを整理する活動も行っている。また、子ども読書調査報告書は、図書館のホームページにPDF版を掲載している。

皆さんにこの場で、子ども読書調査報告書と概要版をお配りする。

会長： 報告書には、第7回とあるが、毎年実施しているか。

文化振興課長： 平成27年度から7年連続で実施している。区のホームページでも公表している。

委員： 広報千代田には掲載しているか。

文化振興課長： 広報千代田には掲載していない。

委員： 読書週間の時に、広報千代田で特集を組んだことはあるか。

文化振興課長： 組んだことはないが、検討していきたい。

事務局： 今回初めての試みとして、「千代田区子ども読書調査で見えたちよだの子どもたち」というパネル展示の特集を夏休み期間に、千代田図書館の展示コーナーを使って大々的に行った。読書調査の結果を展示するとともに、調査項目にもある「大切な本や忘れられない本」を中心に本の展示も行ったところ、大変好評でこれまでの展示コーナーに展示した本の中で、今回の特集が、一番貸出率が高かった。今後も継続的にこの展示は行っていきたい。

委員： 学校図書館は学校の授業に対する支援を当然行っていかないといけない。中でもGIGAスクールと授業の連携に関して、今後はどうなっていくのか。

会長： 概要版の5ページでは電子書籍について尋ねているが、多分図書館が提供するデジタルコンテンツの学校での利活用というところでは、非常に密接に関わってくる側面だと思う。

委員： 学校では、司書の方が授業にもどのように関わっていただけるか、課題でもある。(指導課指導主事) 学校図書館連絡会を年2回、読書振興センターと協力して小中学校、中等教育学校の各校の先生、司書の方と行っている。第1回では調べ学習をテーマに講師を呼んで体験した。1つの小学校ではその調べ学習を、図書と学校独自のタブレットを用いて実際に実施してみた。

電子書籍については、取り入れている学校もある。読書をするきっかけになるとの声も聞いているが、電子書籍も紙の本を手取る1つのきっかけになればと考えている。

会長： 電子書籍を取り入れている学校は、千代田Web図書館を活用しているのか。

委員： 千代田Web図書館とは異なる。1人1台端末が配布されており、試験的にソフトを入れている学校があるが、まだそれが全校でという形ではない。(指導課指導主事)

会長： 千代田Web図書館との連携は、学校として考えていないのか。

委員： 連携できれば良いが、現状としては把握していない。(指導課指導主事)

- 会 長： 子ども読書調査の項目で、電子書籍は、本を読むに含まれるのか、どのような説明をしているのか。
- 文化振興課長： 報告書によると、本を読む（電子書籍を含む）となっている。
- 会 長： 次に、④クリエイトする書庫は資料4に質問と回答があるので、課長から説明をお願いします。
- 文化振興課長： ー資料4の質問と回答を読み上げ、説明ー
- 会 長： 課長からの説明や、そのほか④クリエイトする書庫でご意見等はいかがか。
ー特になしー
- 会 長： 続いて、⑤ファミリーフィールドも資料4に質問と回答があるので、課長から説明をお願いします。
- 文化振興課長： ー資料4の質問と回答を読み上げ、説明ー
- 会 長： 質問の回答から、小中学生の子ども読書調査における不読率について、千代田区では小学生の不読率は低いけれど、中学生になると全国平均まで上がってしまう結果が見て取れる。
- 文化振興課長： 受験勉強の影響もあると予想している。受験科目の中で、国語で本を読んでいると答えられない問題もあるので、もしかするとそこも影響しているのかもしれない。
- 会 長： 同じような議論が国の有識者会議でも以前あり、高校生になると不読率が5割ぐらいになってしまうので、大学入試で本を読んでもと解けない問題を出せばよいのではないか。という意見があった。
国も千代田区も目標として中学生 8.0 という不読率、区の中学生の現状が 12.7、12.5 の不読率を 8.0 まで下げるための取り組みもされていると思うが、結構 4.0 ポイント以上上げることは大変なことだと思うけれども。
- 委 員： 千代田区の小学校では読書を朝に設定している学校もあれば、違う時間に設定（指導課指導主事）している学校もある。しかし、中学校は読書の時間を設けていない。そのあたりが小中学校の違いで大きいところである。
千代田区は読書をしている子が非常に多いという印象があったが、この数値は意外であった。また、読まないの本の良さも分からないため、司書と連携しながら、少しでも読んでもらえるように学校図書館連絡会で、特に中学校の不読率を目標値に向かってどう近づけるか、各学校と検討したいと思う。
- 委 員： 不読率の目標値 2.0%、8.0%を設定しているのは、千代田区か。
- 文化振興課長： 文部科学省が設定している目標値である。千代田区としても文科省に準じて同じ 2.0%、8.0%を目標値として設定している。区独自の目標値ではない。
- 会 長： 報告書の 18 ページを見ると、読みたい本がない子が比較的多く、子どもと本をつないでいく意味では、まさにここが司書の果たす役割は大きいと思う。
- 文化振興課長： どのように子どもたちにアプローチして、興味・関心を引くかだと思う。
- 委 員： 中学校の文化祭ではビブリオバトル（本を紹介する取り組み）を取り入れて、（指導課指導主事）麴町と神田一橋の両校で開催した。九段中等でも過去にビブリオバトルを開催したが、今年度はポップを誰が一番うまく作れるかというポップバトルを取り入れた。各校の実態に合わせ司書と連携しながら学校図書館連絡会でも紹介し合いながら、引き続き読書振興を推進していく予定である。

- 会 長： 続いて、⑥管理運営等も資料4に質問と回答があるので、課長から説明をお願いします。
- 文化振興課長： ー資料4の質問と回答を読み上げ、説明ー
- 会 長： 課長からの説明や、そのほか⑥管理運営等でご意見等はいかがか。
- 委 員： 区内大学生の実習生の受入れは、希望を取っているのか。またどのくらいの倍率で、実施期間はいつか。
- 文化振興課長： 希望を取っている。抽選をして一部の大学に偏りがないようにしている。千代田・日比谷とも夏休みの時期で10日間である。
- 会 長： 研修は確かにオンラインが増えているが、コロナ禍でというよりも、コロナ禍をきっかけに、これからはオンライン併用型の研修の機会がスタンダードになる印象ではある。
- 文化振興課長： 区職員もオンラインやオンデマンド、映像で見聞きする研修が増えている。
- 会 長： では、改めて全体を通して意見等はいかがか。
- 委 員： ④クリエイトする書庫のところで、千代田と日比谷の役割の違いを際立たせるのかという質問に、確かに回答のとおりだと思うが、千代田区の図書館数は他区と比べて非常に少ない印象である。当然人口とか地域の面積の事情もあるが、まちの図書館が少ない印象がある。
- 文化振興課長： 区でまちの図書館といえる図書館は昌平まちかど図書館、神田まちかど図書館、それから図書館には位置づけてないが、和泉小学校の中にある図書室が該当すると思う。図書館を地域に置きたいという声は、世論調査を見ると多い。ただ、本当に図書館を置くとなると、ハード・ソフト両面の研究も必要で、財政的な負担も非常に大きい。四番町図書館の仮施設が決まるまでは、4年か5年ぐらいはかかっている。それを考えると、いろいろ検討する期間が必要である。
- 副 会 長： 個人的に評価をする時に、以前はコロナ禍でも図書館が頑張っているから気持ち的にはa評価をつけたいが、現実的にはb評価が妥当と感じた。しかし、今回は実績も高くなりb評価でいいのかなと迷うところもあった。しかし、来年度も今の状態が続くのであればa評価をつけやすくなってくのではないかと思った。
- 会 長： 以前もこの評議会では要望したが、ぜひ日比谷とか、それぞれの図書館も視察しながら評議会が開催できれば、評価の部分にも反映できるかもしれない。
- 文化振興課長： 前向きに検討させていただく。大学図書館を見ることは可能か。
- 委 員： 外部の方は入れていないが、前もって言ってもらえれば、人数が多くない程度であれば、見ることは可能だと思う。

3 連絡事項

- 文化振興課長： 次回、令和4年度第3回の図書館評議会は、年明け2月1日(水)の開催を予定している。詳細については事務局より追って連絡する。
- 以上で第2回千代田区図書館評議会を閉会とする。